

「私たちが望むのは、
この地域」を
よりよくしていくことだ。



「6500人の暮らしを守る」署名キャンペーン



スモーカー
マウンテン

フィリピン
スモーカーマウンテン

強制立ち退きによって、
約6500人もの人々が
住む場所と仕事を
失おうとしています。

立ち退き反対に向けての
署名活動にご協力ください！

「6500人の暮らしを守る」署名キャンペーン 【趣旨】

フィリピンの首都マニラにある都市スラムの1つ、スモーカーマウンテンが立ち退きの危機にさらされています。今回の立ち退きによって、約6500人の人々が、住む場所と仕事を失おうとしています。

フィリピン政府は2011年11月、政府の抱える負債を返済するため、スモーカーマウンテンを含むマニラ湾沿いの土地を民間企業に売却する、と住民に言い渡しました。売却後は民間企業によって再開発される計画で、港湾整備、旅客ターミナルの建設、民間企業の食糧貯蔵庫の建設等が予定されています。しかし、この計画には、現在その地区で暮らしている人々の生活をどう守るのか、ということが一切含まれておらず、スモーカーマウンテンの住民は立ち退きの恐怖におびえています。

スモーカーマウンテンの住民の多くは地域からの立ち退きに反対し、この地域内で活動する教会とNGOも、こうした住民の立場を支持しています。

立ち退きが実施される場合、再定住地の確保などにかかる予算は100億ペソ(200億円)と見込まれていますが、スモーカーマウンテン地区を居住地区として整備するだけなら数百万ペソで済みます。

私たちがもっとも関心を寄せているのは、住民の生活の質が改善されるかどうかですが、強制立ち退きは、住民の生活の質を悪化させることは明らかです。

社会的に優位な立場にある者にとってメリットが大きい開発ではなく、社会的に弱い立場の人でも、健康で安全に暮らせる開発が必要です。

本署名は、フィリピン大統領に対して、立ち退きに対する意思を伝えるものです。
皆さまに集めていただいた署名はアクセス日本事務局で集約し、当会スタッフが大阪フィリピン領事館に提出します。
同内容の署名キャンペーンをフィリピン国内はもちろん、他の国でも実施しています。

アクセス事務局



フィリピン
総領事館



フィリピン大統領



立ち退き対象世帯の把握のために政府機関により、住居に貼られたタグ。



住民が立ち退き問題に関する情報共有をおこなっている様子。

立ち退き反対運動への応援カンパにも、 ご協力ください！

現在、立ち退き反対キャンペーンをフィリピンと日本で進めるにあたり、さまざまな費用が発生しています。現地では、住民集会で配布する資料の作成費、協力団体との会合にかかる交通費、立ち退き反対運動に対する妨害行動に抵抗する裁判費用などがかかっています。日本国内でも、署名集めのための資料作成費などがかかります。こうした活動費にあてるため、「立ち退き反対運動への応援カンパ」にご協力下さい。

お振込み先 (郵便振替口座) 番号 00960-8-159800 加入者名 ACCE

* 通信欄に、「立ち退き反対カンパ」と記載してください。また、お名前、ご連絡先、領収書の要・不要についてもご記入ください。
* ご寄付下さった方には、お知らせいただいた住所等に活動報告をお届けする予定です。
* 署名いただいた方々の個人情報は適切に管理し、署名提出以外の目的では使用しません。



【署名キャンペーン実施団体】
特定非営利活動法人

アクセス-共生社会をめざす地球市民の会

Aspiring Citizens for Community Empowerment with sunny smile

〒612-0029京都市伏見区深草西浦町4-78村井第一ビル2F 7号室

Tel/Fax:075-643-7232 Email: acce@sannet.ne.jp

ホームページURL <http://www.page.sannet.ne.jp/acce/> 「アクセス NGO」で検索